



心豊か

荻田町青少年育成町民会議だより

人形劇でオ・ア・シ・ス運動



～楽しいひととき!!～

6月24日にオアシス運動啓発人形劇公演を若久青い鳥保育園で見せてもらいました。

この日は、荻田小で読み聞かせをされている「夢タイム」の5人のメンバーの方たちの公演でした。‘ベテランではないから’と謙遜されていましたが、なかなかたいしたものでした。手遊び、絵本、紙芝居、新聞遊びなど…次々出てくる出し物に園児達は、大喜び。子どもたちは、正直で、面白い楽しいものには体中で喜びを表現し、とても可愛かったです。「オアシス」のことばの意味もしっかり把握していて、大きな声で答えていました。

とにかくとても可愛くて楽しくすごしている姿を保護者の方々が御覧になると大安心されることでしょう。(松枝玲子)



心豊かで
たくましい

青少年の育成を目指しましょう。

平成23年度荊田町青少年育成町民会議 第23回 総 会

とき：平成23年4月27日(水) ところ：三原文化会館 大ホール

平成23年度の主要事業計画

- 4月 ○防犯広報活動(年間毎週一回)
○理事会
○総会
○少年を守る日補導(毎月第3水曜日)
- 5月 ○港まつり花火大会(中止)
- 6月 ○オアシス人形劇公演(対象:幼・保)
○朝の声かけ運動
○教育講演会
- 7月 **青少年を非行から守る全国強調月間**
○有害図書等指導訪問
○オアシス人形劇公演(対象:幼・保)
○夏休み特別補導
○すこやか65号発行
○シンナー等薬物乱用防止講演会
- 8月 ○夏休み特別補導
○ふれあいの集い2011
○荊田駅前盆踊補導
○荊田町盆踊補導
- 9月 **いじめストップ強調月間**
○いじめストップキャンペーン実施
○健全育成講演会
- 10月 ○神幸祭補導
○子どもフェスティバル
○朝の声かけ運動
○先進地研修視察
○オアシス等入選者表彰
- 11月 **全国青少年健全育成強化月間**
○すこやか66号発行
○室内競技
- 12月 ○年末年始特別補導
- 1月 ○年末年始特別補導
- 2月 ○どんど焼き補導
○家庭教育講座
- 3月 ○役員・委員講演会
○春休み特別補導
○すこやか67号発行
○荊田町ふれあいマラソン大会後援



平成23年4月27日(水)
荊田町青少年育成町民会議
第23回総会が開かれました。来
賓として、行橋警察署生活安全
課課長 島崎浩一氏、荊田町議
副議長 井上修氏がご出席下
さいました。

三役の方々

| 会 長 | 副会長 | 理 事 長 |
|---------|---------|---------|
| 吉 廣 啓子氏 | 千 原 勲氏 | 長 田 祐汪氏 |
| | 三 角 主計氏 | |

吉廣町長の挨拶から始まり、
昨年度の主な事業と決算報告
があり、今年度の事業計画案な
どを提案しました。
また、役員改選に係わる新役
員のご承認もいただき、無事に
総会を閉会しました。
平成23年度・24年度の新役員
(3役)は、次のとおりです。2年
間よろしく願います。



平成23年度事業計画 《重点目標》としては、

1. 子ども同士や子どもと大人のふれあいを重視し、地域での異年齢の交流の場となる諸行事を企画し各団体の活動を支援する。
2. 少年犯罪、非行の防止に努め、事故や不審者等から子どもを守る活動を推進する。
3. 荊田町が取り組んでいる「荊田町非行防止推進事業」の主旨に沿い、積極的に参画する。
4. 青少年も社会の一員であることを自覚するようなボランティア活動を支援する。
5. 青少年問題に関する広報、啓発活動を推進する。

以上をふまえて、これからの青少年の健全育成を推進してまいります。

7月は青少年を非行から守る強調月間です。

この機会に自分・地域の子どもたちを見直しましょう。

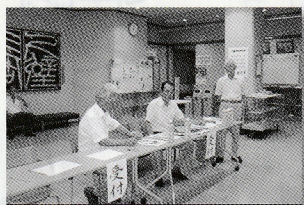
青少年を非行から守る全国強調月間にあたり荻田町青少年育成町民会議では、その取り組みのひとつとして、「有害環境の浄化推進」運動を行っています。

◇その1: 役場玄関東側に懸垂幕を掲げ、町民の周知を図る。

◇その2: 青少年に有害な図書・図画等の販売について、配慮のための町内書籍・ビデオ店訪問。

少年非行・シンナー等薬物乱用防止講演会開催される

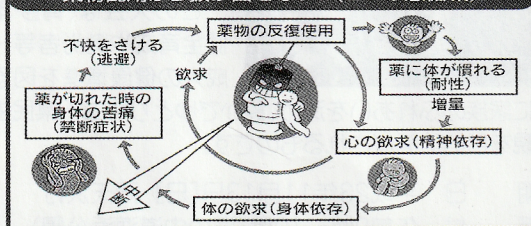
1. 日 時 平成23年7月8日(金)
2. 場 所 荻田町中央公民館第5研修室
3. 講 師 福岡県薬物乱用防止講演会
講師 川崎 洋氏
4. 演 題 青少年健全育成について
『青少年は今 ~薬物乱用の現状とは~』



一度だけなら大丈夫なの？

ほとんどの人は、「一度くらいなら」といったほんのちょっとした好奇心から使い始め、ひとたび乱用を始めると自分ではコントロールできない状態におちいり、繰り返し乱用する泥沼にはまってしまう。

薬物乱用から抜け出せない!! (2つの悪循環)



依存性: 一回くらいならと思って、また使いたくなり、繰り返し使ううちに薬物の使い方のコントロールがきかなくなってしまうこと。

耐性: 使用を繰り返しているうちに、それまでの量では効きめがうすれていくこと。

恐ろしいフラッシュバック

薬物乱用をやめ、普通の生活に戻ったようでも、少量の再使用や飲酒、ささいなストレスなどにより突然、幻覚・妄想などの精神障害が再燃することがあります。

これをフラッシュバック(再燃現象)といいます。



「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気をもとう。

ここ何年か、この講演に参加していますが、年々恐さが増して来た気がします。それは、青少年をとりまく環境問題があまりにも悪い方に速さを増しているように感じるからです。

薬物は、ごくまれな人たちの間だけと心のどこかで思い、そうであってほしいと願っている面がありましたが、今回のお話では、インターネットでも簡単に手に入るし、いろいろな種類や言葉の罠で普通の子が、ましてや小学生までも手を出して売人になってしまうという…、本当に信じられないお話ばかりでした。

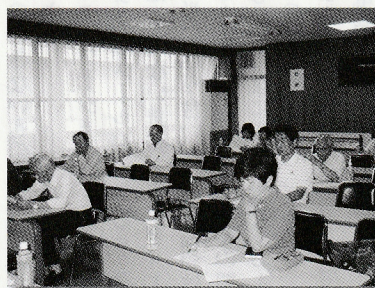
家族のことで考えると、そんな罠にかかるかもしれないと思ったら体が凍りつくような恐さを感じました。私には関係ないと思いがちですが、これからは、もしかしたらと考え家族の中で誘われても絶対にはっきり断わる勇気を持ち、「自らのことは、自ら守る」ということを何度も何度も認識させることが大切と思いました。

(荒鬼文子)

役員会

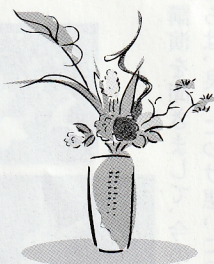
荻田町青少年育成町民会議では、年間の行事や身近な問題など推進・具体化していくため、役員会を開催しております。

家庭部会委員会の様子
真剣な討議を重ねております。



補導環境部会役員会の様子

日々、「安心で安全な町づくり」をモットーに子どもたちを守る啓発活動を推進しております。



みんなで守ろう子どもたちの安全

『朝の声かけ運動』



おはよう
ございます!!

3月11日の東日本大震災に胸を痛めながら、今年の夏は、水不足と言われているのにもかかわらず、テレビでは、大雨の被害が報道されています。

そんな中、6月24日、「朝の声かけ運動」は、小児状態の中で始まりました。校門の前で登校して来る子どもたちを見ていると、昨年は元気がない子が多いと気になっていましたが、今年は元気よくあいさつをかわす子どもたちが多く見られました。

先生方が笑顔で声をかけている姿を見ていたら、ふと昔の頃を思い出しました。雨が降ると母が傘を持って迎えに来てくれて、一緒に帰るのがとても嬉しかったです。

でも、私自身、我が子を迎えに行った記憶がありません。働いていた私を気遣って、祖父母が迎えに行っていました。

そんな懐かしい思い出を呼び起こしながら「朝の声かけ運動」は終了しました。
(H O)



『声かけ運動』もっと身近に

夏休み特別企画

ふれあいの集い 2011

参加者募集!!

8/21
開催

1. 日 時 平成23年8月21日(日)9:00~13:00
2. 場 所 白川(稲光)専光寺
西部公民館 大ホール(そば食事処)
3. 講 師 専光寺住職 福井 弘道 氏
そばを打つ方 白川(谷)松永 政利 氏
4. 対 象 者 小・中学生(親子歓迎)
5. 定 員 親子含め70名程度
(定員になり次第締め切ります。)
6. 申 込 締 切 日 平成23年8月5日(金)
7. 申 込 場 所 町民会議 事務局(FAX可)
8. 当日集合場所 西部公民館 受付9:00~9:30
9. 参 加 費 子ども・大人ひとり100円
(保険、そば諸経費他)当日徴収
10. もってくるもの お茶、タオル、帽子
11. 問 合 せ 先 町民会議 事務局
TEL・FAX 093-434-9838

『2011 福岡県民さわやかマラソン大会』に参加しませんか。



この大会は、青少年の健全育成や勤労者等一般成人の健康増進を図るとともに家族のふれあいを深め、豊かでゆとりのある県民生活の実現を目的に開催されるものです。

1. 期 日 平成23年11月13日[日] 雨天決行
2. 受 付 午前9時~10時(海の中道海浜公園)
3. 開 会 式 午前10時~10時20分
4. スタート 1 kmコース 午前10時45分
2 kmコース 午前11時00分
5 kmコース 午前11時30分
10 kmコース 午前11時50分
5. 閉 会 式 午後1時30分
6. 申し込み期間 平成23年9月1日(木)~10月14日(金)必着
7. 問い合わせ先 福岡県民さわやかマラソン大会事務局
TEL 092-643-6001 FAX 092-643-6003
9月1日(木)からの問い合わせ事務局
TEL 092-715-0005 FAX 092-716-8178
[平日の午前10時から午後5時まで※祝日を除く]



教育講演会に参加して

演 題

「ケータイ・ネット社会の子どもたち」

日 時 平成23年6月24日(金)

場 所 荻田町立 新津中学校体育館

講 師 子どもと

メディア専務理事

古野陽一氏



講演を聞きまして、今の子どもたちは、良いにつけ悪いにつけ、携帯電話が毎日の生活の中で切り離すことのできないものになっているようです。

コミュニケーションをとるにも、会話よりもメールが主であり、言葉では言えない誹謗、中傷をメールで簡単に送り合い、他人を傷つけることを簡単にする…。なんの罪悪感も無く、なにくわぬ顔でおもしろがっている…。

そんなこととしていいのでしょうか。携帯電話を持たない私にとって、話の内容は信じがたいお話でした。

いろいろな事件が起きている今、親子で携帯電話の使い方について話し合い、利便性と危険性を再認識して、自分と携帯電話との関係を見つめなおしてほしいと思います。
(濱田勝枝)

与amp;原小学校 春季大運動会

今年度の運動会は、雨や台風の影響から延期となり、5月31日(火)に開催されました。当日は薄曇りの絶好の運動会日和でしたが、練習期間中は雨模様が続き、練習が思い通りに進まずに心配しました。しかし、本番では子どもたちが最高のがんばりを見せてくれました。約3週間にわたる運動会に向けた取り組みの中で、運動会の目標である運動技能の向上はもちろんのこと、集団行動での集中力、お互いに助け合って協力する思いやりの心などを十分に育成することができました。平日開催になったことで、参観される保護者や地域の皆さんの数は少し少なかったものの、大きな熱い声援に後押しされ、子どもたちは普段以上の力を出し切れたと思います。また、高学年の児童が縁の下の力もちとなって、係活動を熱心にする姿がぴかっと光っていました。子どもたちにとって思い出に残る運動会になりました。



子どもの感想から

- 結果発表のとき、ドキドキしました。勝ててうれしかったです。
- 練習はあまりできなかったけど、一生懸命がんばりました。
- とても心に残る運動会になってよかったです。係の仕事もがんばりました。

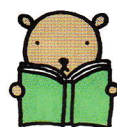
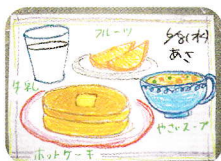
6月 通学合宿だ！ がんばりました。

まるっと生活体験！

開催日 6月5日(日)～11日(土) 中央公民館
6月19日(日)～25日(土) 小波瀬CC

親元を離れて、1週間過ごしました。子どもたちはそれぞれの問題解決を乗り越え、今また普通の生活をしていることでしょう…。でも何かが子どもたちの中で違っているのでは…、成長の程が伺えると思います。また親も期間中は子どもが居ない家庭に違和感を持たれたことでしょう…。新しい友だち、もらい風呂での地域の体験、大きい風呂での裸の付き合い、料理等では協力しあうことの大切さを学んだことと思います。

子どもたちが「きずな」「自発性」を促し、日々送ることは、前向きと反省の姿勢でしかありません。この1週間だけでなくこれからも声かけを大切に、子どもたちの成長を見つめていきたいと考えています。



バア～バアの一言 (出会い…)

(No.19)

ある日、バア～バアが絵を描いているとカッコいいおじいさんがやってきました。

いろんな話をしました。そんな中、話が昔のしきたりや、言葉の語源などの話へ変わっていききました。

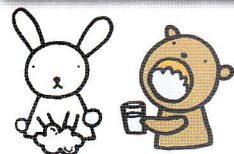
おじいさん：「この漢字知っているかい？」と言って「樫」と書きました。

バア～バア：「ゆずりは？」と言いますと「樫」は古い葉は垂れさがり、新しい葉に世代をゆずるさまから、世代交代として、縁起の良い木とされているので正月飾りとして用いられているのだよ…と教えてもらいました。

漢字を見つめるとなるほど…「樫」



おじいさん「この漢字は…」と言って「燈」と書きました。灯を照らす木の意としてまた正月飾りに使われているミカンの実の名前「だいたい」…と教えてもらいました。なるほど、バア～バアは漢字に魅了されました…。漢字は私たちに教えたがっているのでは…。考えた次から次へと調べたくなりました。またこのことも子どもたちへ教え、導いていかないといけない世代にあることも実感しました。どうですか？漢字の嫌いな孫たちに使ってみましょう…。



夏休み英彦山キャンプ 8月4日～9日



荻田町子ども会育成
連合会事務局

編集・発行
荻田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会
☎ 093・434・9838



編集長 松枝 玲子
委員 濱田 勝枝
荒鬼 文子
尾田 弘子
金丸 晴樹
工藤 正志

23年度すこやか編集委員

「人生何度も壁にぶち当たる」、
人類の英知をもつて壁を乗り越え
たい。
(金丸晴樹)

このまま、人類が欲望のまま突っ
走れば、壁に激突することになりは
しないだろうか。小学校の恩師の言
葉を思い出した。
「人生何度も壁にぶち当たる」、
人類の英知をもつて壁を乗り越え
たい。
(金丸晴樹)

我が国の社会は、「閉塞感」にお
おわれていると言われる。「一義的」
には、経済の停滞を指すが、「閉塞」と
いう言葉からは、何か身動きの取れ
ない囲みや立ち塞がる壁を想起さ
せる。まさに、福島原発の災禍は資
本主義社会が自ら作り出した障壁
に他ならない。

編集後記

本年3月11日、東北地方において
大地震が発生した。これによる大津
波は、予想をはるかに超え、家屋の流
失や人命の損害は未曾有の大震災
となった。また、津波による「福島原
発」の破壊は、かつて経験したこと
のない事件ゆえに、先行きの不安は
かりようにならない状況にある。